

IsaVRd療法【2～4コース目】(Day15)

【血液内科】251-15【多発性骨髄腫】

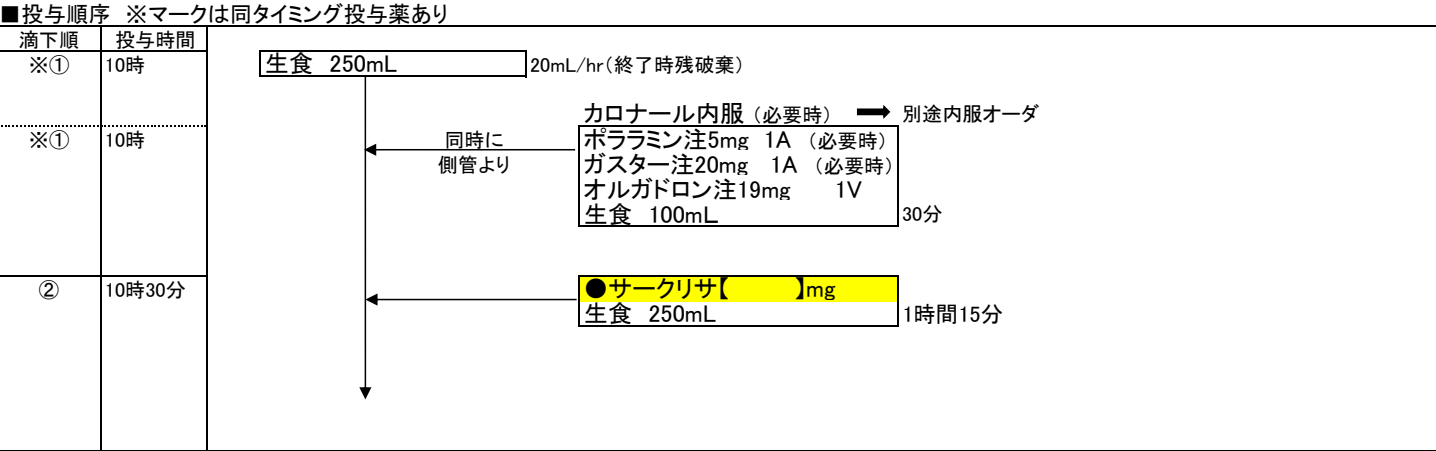
(第 コース目)

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:		病棟:	
医師名:		印	
身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m ²	Cr:	mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール : 6週ごとを1コースとする

Day	1	2	4	5	8	9	11	12	15	22	23	25	26	29	30	32	33	36	~42
施行日	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
サークリサ	↓	休薬	休薬	休薬	休薬	休薬	休薬	休薬	↓	休薬	休薬	休薬	休薬	↓	休薬	休薬	休薬	休薬	休薬
ボルテゾミブ	↓	休薬	↓	休薬	↓	休薬	↓	休薬	休薬	↓	休薬	↓	休薬	↓	休薬	↓	休薬	休薬	休薬
オルガドロン	↓	休薬	休薬	休薬	休薬	休薬	休薬	休薬	↓	休薬	休薬	休薬	休薬	↓	休薬	休薬	休薬	休薬	休薬
レナデックス(経口)	休薬	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	休薬	休薬	↓	↓	↓	休薬	↓	↓	↓	休薬	休薬
レブラミド	経口: Day1-14									経口: Day22-35									



■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量	
サークリサ	10 mg/kg	mg/Body
ボルテゾミブ	1.3 mg/m ²	mg/Body
オルガドロン	mg/m ²	19mg/Body
レナデックス(経口)	mg/m ²	20mg/Body
レブラミド(経口)	mg/m ²	25mg/Body

◎75歳以上はデキサメタゾン週2回に減量する

- 注意・確認事項
- 点滴セットはフィルター付き輸液ルートを使用すること。
 - サークリサ投与時は輸液ポンプを使用すること。
 - サークリサ投与中または投与開始後24時間以内にinfusion reactionが起こる場合があるので注意すること。
 - 1コース目においてinfusion reactionが認められなかった場合は、2コース目以降のサークリサ投与における前投薬の必要性を再検討することができる。
 - サークリサの投与速度 (詳細は点滴速度換算表参照)
 - ◀3回目投与以降▶
200mL/hr

入力薬剤師	看護師	看護師